

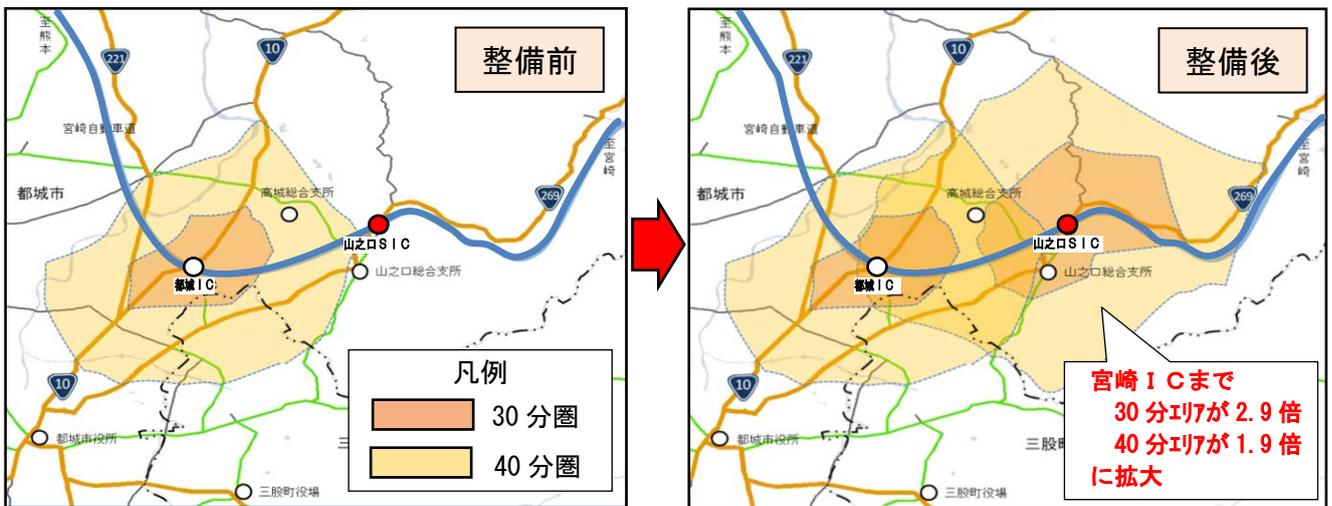
期待される整備効果

●住民生活の利便性の向上

高速道路へのアクセスが向上し、生活利便性の向上に寄与します。

○宮崎 I C から 30 分エリアが約 3 倍、40 分エリアが約 2 倍に拡大

▼宮崎 I C までの通勤圏の拡大（30 分圏・40 分圏）

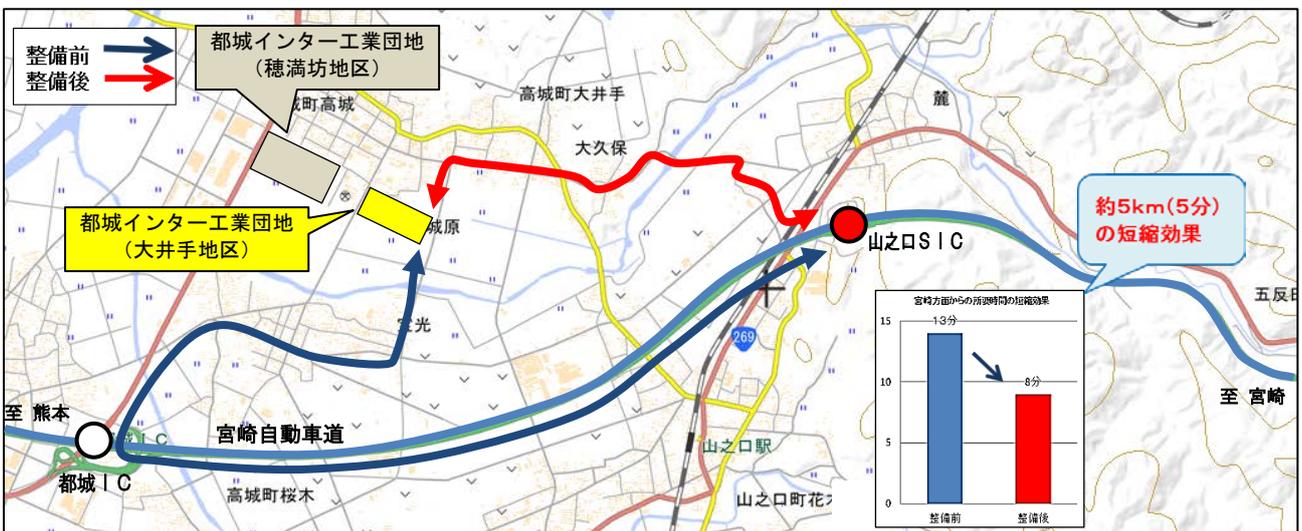


●「経済の道」としての効果

物流の効率化・高速化が図られることにより、輸送コストの圧縮、企業誘致、雇用の創出、6次産業化の推進等が期待されます。

○宮崎方面から都城インター工業団地（大井手地区）までの所要時間が約 5 分短縮

▼都城インター工業団地大井手地区までのアクセスの変化と時間短縮効果

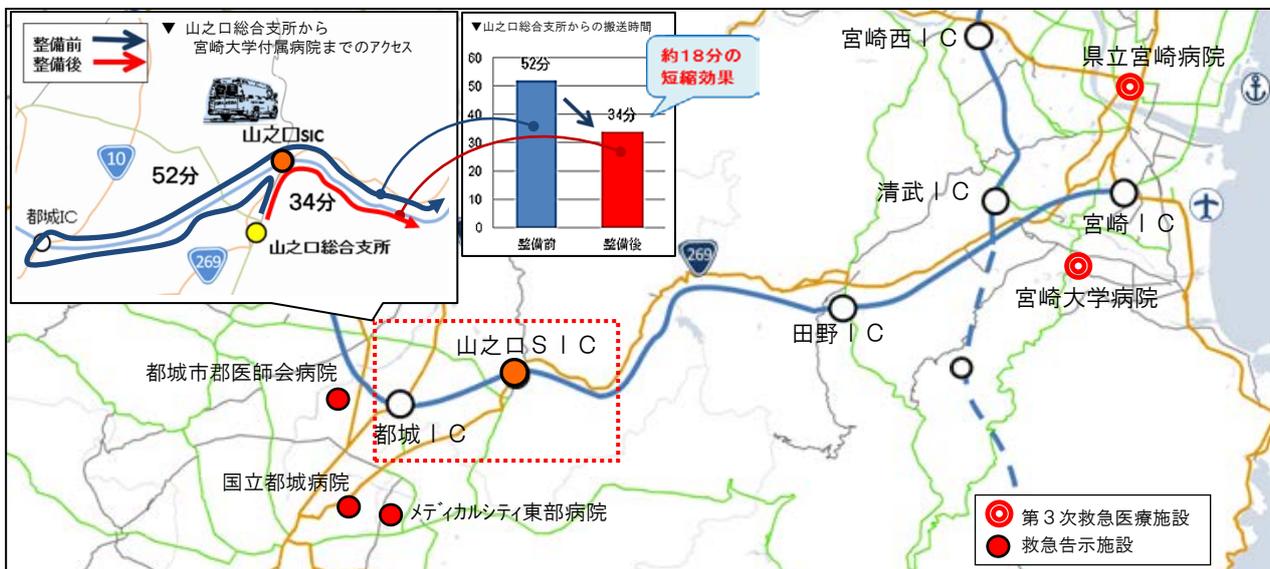


● 「医療の道」としての効果

第3次救急医療施設への搬送時間が大幅に短縮されることにより、対象エリアで重篤事故が起こった場合、救命率の大幅な向上が期待できます。

○山之口総合支所から、宮崎大学病院までの搬送時間が約18分短縮

▼ 都城市の主な救急告示病院と第3次救急医療施設



● 「防災の道」としての効果

将来発生が予想される南海トラフ大地震等の広域災害により県都機能がダメージを受けた場合、県内第2の都市としてそのバックアップ機能を果たすための最重要・最短ルートを形成します。

▼ 南海トラフ大地震時の県都機能バックアップ



